

認知症サポーター等の活動促進及び認知症のある人の社会参加について

I 認知症サポーター等の活動促進

1 趣 旨

令和6年度第2回認知症施策検討専門部会において、令和5年度重点施策「『チームオレンジ Bunkyo』サポーターによる認知症に優しいまちづくり」の取組状況を報告した。
前回の報告後から現在に至るまでの事業の実施状況について報告する。

2 主な事業内容と取組状況

(1) 地域で継続的に活動するサポーターの育成

① 認知症サポーターステップアップ講座

養成講座を受講した認知症サポーターを対象に、地域でのボランティア活動を後押しするため、令和5年度からより実践的な講座内容に拡充して実施している。

(定員 20名)

	令和6年度【参考】			令和7年度		
回 次	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
内 容	講義	実習	講義	講義	実習	講義
参加者数	15名	14名	13名	20名	—	—

(2) サポーターの活動状況と活動支援

① チームオレンジ活動

認知症カフェにおいて、認知症当事者や専門職とともに、チームオレンジの運営の一端を担っている。

- 各活動先のスタンスに賛同し、運営協力の意向がある場合、事前に「チームオレンジ活動登録」を行う。
- 活動登録を行ったサポーターに対し、活動支援費（500円/回）を支給する。
〈登録人数〉9名（※令和7年8月20日現在）

② 公式LINEによるボランティア情報等の配信

認知症サポーター専用公式LINEアカウントにより、ステップアップ講座修了者等に対し、認知症関連事業のボランティア活動に関する情報を適宜、配信している。

③ 認知症サポーター勉強会・交流会

ステップアップ講座修了者等を対象に、地域活動に必要な知識やスキルについて理解を深めるための勉強会と、モチベーションの維持・向上を図るための交流会を開催している。

〈第1回〉 日 程：令和7年7月25日（金） 参加者数：11名

〈第2回〉 日 程：令和8年2月6日（金） 実施予定

参 考：第1回勉強会・交流会の報告 別紙1のとおり

(3) 認知症本人交流会の開催

区内の高齢者あんしん相談センターと連携し、認知症本人の想いやニーズを伺う本人交流会（本人ミーティング）を実施している。

Ⅱ 認知症のある人の社会参加

1 趣 旨

認知症基本法を踏まえ、認知症の本人が地域で主体的に活動できるよう、関係機関と連携し、社会参加に関する機会を創出する取組みを進めている。

前回の報告後から現在に至るまでの事業の実施状況について報告する。

2 主な事業内容と取組状況

(1) 注文をまちがえる もったいない野菜マルシェ（後援事業）

認知症当事者が販売スタッフとなり、福島県の畑から届いた“もったいない野菜”（市場に売り出されない規格外の野菜）を販売する。認知症当事者と地域住民との対話や交流を促進する他、来場者が認知症当事者の活動する姿を見ることで、「認知症になってもやりたいことやできることはたくさんある」という認知症当事者に対する正しい理解を促進する。

〈開催日時〉 令和7年9月21日（日）12時～18時 ※世界アルツハイマーデー（認知症の日）

〈開催場所〉 ケアワーク弥生ビル1階「ケアギルドトーキョー」店内及びウッドデッキ

参 考：開催案内チラシ 別紙2のとおり

〈運 営〉 主催：(株)ケアワーク弥生 後援：文京区

(2) チームオレンジお助け隊事業（令和7年度重点施策）

文京区シルバー人材センターと連携を図り、区内事業所から受注した仕事について、認知症当事者会員と一般会員が「チームオレンジお助け隊」として複数人で一緒に就業する。その活動を通じて、区民や区内企業に対し、認知症に優しいまちに係る普及啓発や理解の促進を図る。

〈参 考〉 認知症当事者会員募集チラシ・区内事業所向けチラシ

別紙3・4のとおり

① 取組状況

ア 区内事業所への周知及び受注の開拓

区及びシルバー人材センターの既存の取引先事業所、区内大学等へ打診している。

【受注業務】（※見込みを含む）

- 室内での軽作業（資料の封入作業、印刷事務 等）
- 事業所内敷地における除草作業

イ 認知症当事者会員の募集

高齢者あんしん相談センターや地区医師会等への協力依頼、認知症カフェ等の各事業の参加者へ案内を行っている。

【対象者（候補者）】（※令和7年8月20日現在）

- シルバー人材センター会員 2名
- 高齢者あんしん相談センターが関わる方 3名

② 今後について

令和7年9月～10月頃 「チームオレンジお助け隊」活動開始予定